

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 基準日	毎年6月開催 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
単元株式数	100株
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲二丁目3番1号
事務取扱場所 (郵便物送付先)	住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎0120-176-417
(インターネットホームページURL)	<a href="http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html">http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html</a>
公告の方法	当社のホームページに掲載する <a href="http://www.ferrotec.co.jp/">http://www.ferrotec.co.jp/</a>
上場証券取引所	株式会社大阪証券取引所 ジャスダック市場

### 《本社事務所移転のお知らせ》

当社は本社機能の充実とグループ業務の効率化を図るため、平成23年5月10日より本社事務所を下記に移転しました。

〒103-0027 東京都中央区日本橋2-3-4 日本橋プラザビル

なお、同時に連結子会社株式会社フェローテックセラミックス、株式会社フェローテックシリコンについても同ビルに本社事務所を移転しました。



# FeroTec

株式会社 フェローテック

〒104-0031 東京都中央区京橋1-4-14  
TEL 03-3281-8808 FAX 03-3281-8848  
URL <http://www.ferrotec.co.jp/>

## 第31期 決算報告

# BUSINESS REPORT

平成22年4月1日～平成23年3月31日  
証券コード：6890



FeroTec  
株式会社 フェローテック



代表取締役社長 山村 章

### 株主のみなさまへ

平成23年3月11日に発生しました東北地方太平洋沖地震により被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げます。

ここに第31期決算報告をお届けするにあたりご挨拶申し上げます。わが国の経済は、中国をはじめアジア経済のけん引により、緩やかに回復基調が続きました。エレクトロニクス産業は、半導体・LED・FPD業界において、回復から拡大に向かい、スマートフォンやタブレットPC向け電子部品や製造装置の需要が旺盛でした。一方、太陽電池業界では、メガソーラー発電所の建設が世界各地で進んでおり、中国における太陽電池セルや太陽電池モジュールの生産拡大が続いています。

このような状況を受け、当社の装置関連事業においては、LEDを含めた半導体製造装置や有機ELパネル等のFPD製造装置向け真空シールの売上高が増加し、半導体製造プロセスに使われる石英製品やセラミックス製品の需要も回復に転じました。太陽電池関連事業においては、シリコン結晶製造装置の売上が伸張し、同装置の消耗品である石英るつぼも計画どおりに出荷が進みました。また、電子デバイス事業においては、主力の自動車温調シート向けサーモモジュールが、自動車産業の市場回復に支えられ好調に推移しました。この結果、連結売上高は578億80百万円(前期比83.5%増)、連結営業利益は69億31百万円(同885.4%増)、連結経常利益は62億90百万円(同1,099.9%増)、連結当期純利益は44億83百万円(同2,768.4%増)となりました。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 私たちは、 さらにエネルギー・ 環境関連に注力します

代表取締役副社長 山村 丈 × 代表取締役副社長 賀 賢 漢



### ■ 攻めの営業で過去最高を達成

—— 当期の連結業績は過去最高を達成しましたね。

**賀** リーマンショック後、当社グループはエネルギー・環境関連事業に経営資源を集中し、装置関連、電子デバイス関連、太陽電池の3つの事業セグメントがバランスよく健闘しました。

—— 各事業はどのような状況でしたか。

**賀** 半導体製造装置などに組み込まれる真空シールは、ずっと70億円前後の売上規模でした。しかし、太陽電池の素材となるシリコン結晶引上装置やLEDの薄膜をつくるMOCVD装置にも組み込まれることで新たな価値を持ち始めています。この1年は半導体やFPD業界が、概ね堅調に推移し、太陽電池関連のシリコン結晶製造装置の出荷が極めて順調に進みました。電子デバイスも底堅く、

業績を押し上げる結果となりました。

—— 営業的にはどのようなところに重点を置かれたのでしょうか。

**賀** 真空シールではスペアパーツ、チャンバー類、ロボット関係です。LED関連から有機EL、薄膜関連にまで広がっています。太陽電池関連では、シリコン結晶製造装置、石英るつぼ、カーボンるつぼ、角槽るつぼなどの消耗品関連、太陽電池の部材であるシリコンインゴットの製造とウェーハの加工です。

—— 電子デバイス関連はいかがでしたか。

**賀** 自動車の温調シートは、米国の大手自動車メーカーの復調などで回復基調にあります。

—— 今後、3事業はどのように推移すると……。

**賀** 平成24年3月期は太陽電池関連が装置関連を上回る勢いです。



代表取締役副社長  
山村 丈

### ■ 新たな成長に向けて中期目標を設定

—— いま、山村副社長を中心に中期的な成長目標・方向性を発表されましたね。

**山村** 先日、中期計画を作成しました。まず、技術的な面ですが、製品開発力を強化したい、これを今年からしっかりやると決めました。製品ごとに新しい開発品のロードマップもつくります。

—— ほかには……。

**山村** 営業的な面ではグローバルネットワークを活かせないかと考えています。生産体制については、運営の効率化が図れるよう、体制の見直しを進めます。また、エリア戦略ですが、インドやロシアなど新興国における既存製品の販売に力を入れていきます。

—— 中国では、賀副社長のご尽力もあり、現地化が着実に進んでいますか……。

**賀** 1992年に中国・杭州に現地法人をつくり、約20年になります。ローカルの優秀な人材を集めてやってきました。これからも優秀な学生を採用するために上海電力学院をはじめ4つの大学に奨学金を寄贈しています。上海電力学院では私が客員教授として講座も持っています。

**山村** 社会貢献ですね。そういうつながりを大切に、さらに絆を太くしたいものです。

### ■ 拡充する生産体制

—— 生産体制の増強も進みましたね。

**賀** 上海工場で太陽電池のウェーハ製造設備を増強したほか、コバレントマテリアル社との合併で太陽電池用多結晶シリコン溶融るつぼ(角槽るつぼ)の新会社を設立しました。また、テメスカルという事業をM&Aで取得し、LEDの蒸着装置の生産を拡大しています。

—— 太陽電池など自然エネルギーへの期待が高まっていますね。

**賀** 中国は世界の太陽電池用のウェーハやセルを5~6割製造しています。私どもはシリコン結晶製造装置からスタートし、今後は中国でつくった製品を海外と中国の双方で販売します。

—— 将来を見据えた技術力ではいかがですか。

**賀** ひとつは本社の技術開発部門の強化。次に

上海の開発子会社の活用です。上海の開発子会社は17名の日本人と23名の中国人の計40名体制で運営しています。

### ■ 大震災から立ち上がり

—— 日本は大震災に見舞われました。影響はどうかという声が多数寄せられています。

**山村** 震災の2日後に対策本部を立ち上げました。当社では岩手県の釜石事業所が津波による大きな被害を受けました。

**賀** 一緒に現地に入りましたが、事業所の被害は甚大です。

**山村** 従業員は幸いにして全員無事でしたが、ご家族の中には犠牲になられた方や行方不明の方もいらっしゃいます。早急にプロジェクトを組み、5月初めに千葉県匝瑳市の千葉工場に釜石事業所の機能を移しました。ご家族のみなさんも受け入れています。震災の影響は、資産等の損失で4億8,000万円ほどでした。

**賀** 震災と福島原子力発電所の事故で、ビジネス環境も変わる予感がします。自然エネルギー、特に太陽光発電への関心がさらに高まると思います。この分野はもともと日本が世界で一番でした。問題は日本政府がどこまで本気で普及に取り組むかでしょうね。アメリカはオバマ大統領がグリーン・ニ



代表取締役副社長  
賀 賢 漢

ューディールで雇用と成長を目指しています。

—— 株主の皆様へメッセージをお願いします。

**賀** 一日も早く連結売上高で1,000億円、営業利益率で15%を超える会社になるのが私の夢です。

**山村** 当社は創業30周年を迎え、当期末の配当は1株当たり普通配当金を12円から18円に、これに記念配当金2円を合わせまして1株当たり20円といたしました。

**賀** 当社グループはまだまだ成長します。

**山村** 私どものミッションは、グループ全体で低炭素社会に貢献していくこと。もう1つは、企業価値の向上に向けて時価総額を大きくすること。それには、世の中の役に立つ製品をさらに供給することが大切です。株主の皆様には末長くご支援をいただけるよう心よりお願い申し上げます。

## 市場のニーズを的確に捉え、 高品質な製品を供給します。

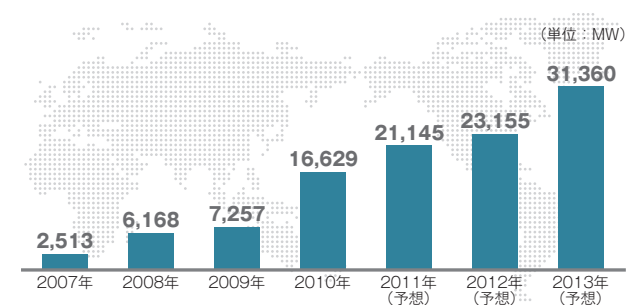
当社グループの業績を牽引している太陽電池関連事業。  
今後の市場拡大を見据え、  
製品群の拡充と新たな取り組みについてご説明します。



### 太陽電池市場が本格的な拡大期へ

太陽電池市場は、世界金融危機やスペインにおける補助政策見直しなどの影響により、2009年に成長の鈍化が見られました。その後、各国政府による再生可能エネルギー支援策が次々と発表されたことなどを機に需要が戻り、再び拡大傾向にあります。

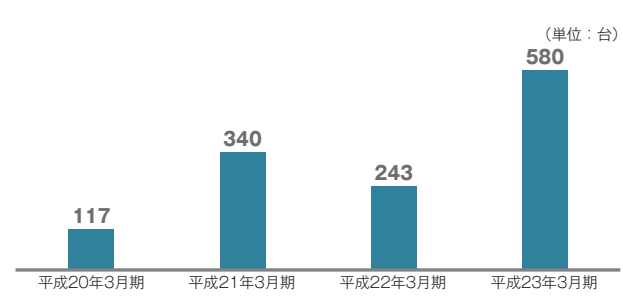
■ 世界の太陽電池設置量推移及び予測



### 中国の太陽電池関連企業が相次いで 増産計画を発表

世界一の太陽電池生産国である中国では、大手の太陽電池関連企業が相次いで増産計画を発表しています。さらに中国では、2015年における太陽光発電設備容量の目標値を10ギガワット(2010年比10倍)に引き上げる可能性について報道がなされました。

■ 当社グループにおけるシリコン結晶製造装置の出荷台数推移



#### 太陽電池製造の前工程をカバー

##### シリコン結晶製造装置などの 各種装置を製造・販売

単・多結晶のインゴット生成、ウェーハ形状に加工する外周研削・スライス、そして検査に至るまでの工程をカバーする各種装置を揃えています。

##### 消耗品である石英のつぼや 角槽のつぼを製造・販売

単結晶インゴットの生成には石英のつぼが、多結晶インゴットには角槽のつぼが不可欠。いずれも一度の使用で取り替える消耗品です。当社グループは、その安定供給を常に維持しています。

##### 部材であるインゴットや ウェーハを製造・販売

シリコン原料から生成される単・多結晶インゴット。これをスライスしたウェーハ。当社グループはこれらの部材を自社で製造しています。

#### そして今、フェローテックでは……

##### 新たに角切ソー装置を製造・販売

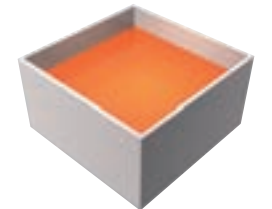
当期は、これまでのシリコン結晶製造装置を主とする製造・販売から製品ラインナップを拡げ、シリコンインゴットを全自動で角柱に切断加工する角切ソー装置の製造・販売を開始しました。



角切ソー装置

##### 角槽るつぼの生産体制を構築

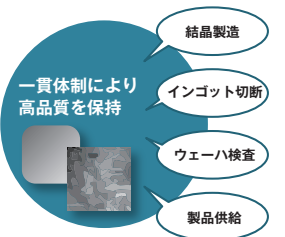
シリコン多結晶製造装置に必要な角槽るつぼを供給するため、当社グループはコバレントマテリアル社と合併会社を設立しました。



角槽るつぼ

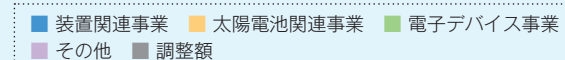
##### ウェーハの本格量産を開始

中国のセル・モジュールメーカーは、ウェーハの外部調達化を進めています。このニーズに対応し、上海工場ではウェーハの本格量産を開始。自社一貫製造による高品質が高く評価されています。



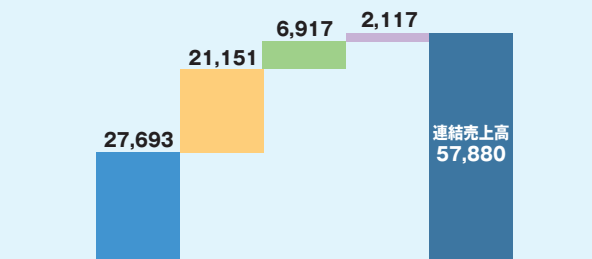
セグメントにつきましては、前期までは「装置関連事業」「太陽電池関連事業」「電子デバイス事業」及び「CMS事業」の4事業セグメントとしておりましたが、当期から製品用途の類似性と販売先業種により区分し、「装置関連事業」「太陽電池関連事業」及び「電子デバイス事業」の3事業を報告セグメントとし、従来「CMS事業」として区分していたシリコンウェーハ加工を「装置関連事業」に分類しております。

当期(平成23年3月期)



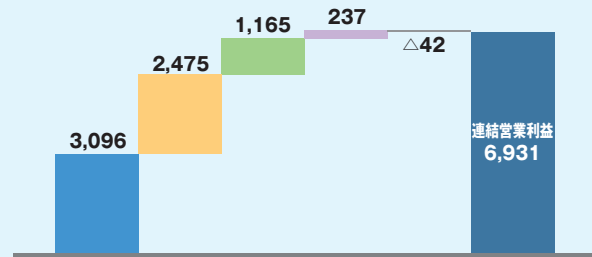
■ セグメント別売上高の状況

(単位:百万円)

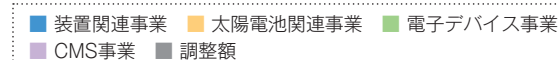


■ セグメント別営業利益の状況

(単位:百万円)

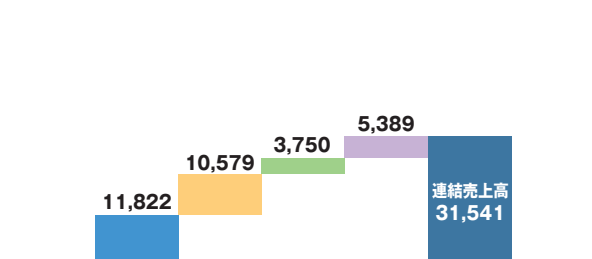


前期(平成22年3月期)



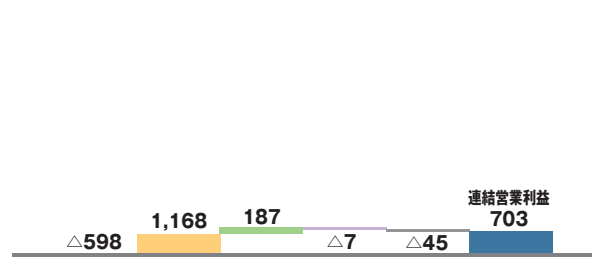
■ セグメント別売上高の状況

(単位:百万円)



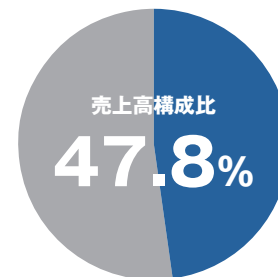
■ セグメント別営業利益の状況

(単位:百万円)

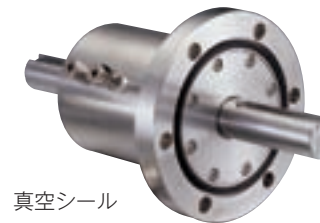


装置関連事業

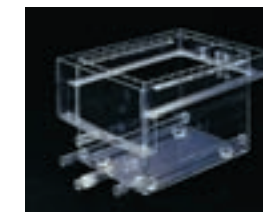
半導体・FPD・LED関連など先端産業のビジネスパートナーとして、真空シール、石英製品、セラミックス製品等を生産しています。



売上高  
**276億9,300万円**  
営業利益  
**30億9,600万円**



真空シール



石英製品



セラミックス製品

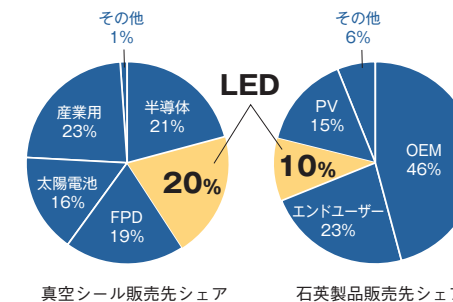
真空シールは台湾、韓国での製造装置稼働率の急回復を背景に半導体・液晶関連の設備投資が再開され、LED製造装置用途の需要も強く伸張しました。石英製品、セラミックス製品など製造プロセスに使用する消耗品の需要も、デバイスメーカーの装置稼働率が高止まりしているため堅調に推移しました。

▶ ご注目 ◀

エレクトロニクスの新たな成長領域  
「LED 市場」への本格展開

近年、長寿命・省電力のLED(発光ダイオード)が市場を急拡大させています。当社の装置関連事業においても、真空シール販売先の20%、石英製品販売先の10%がLED市場となっており、今後さらに拡がっていく見通しです。

また、米国子会社フェローテック(USA)は昨年1月、事業譲受により、LED等の化合物半導体産業向け電子ビーム蒸着システムの製造販売を開始しました。

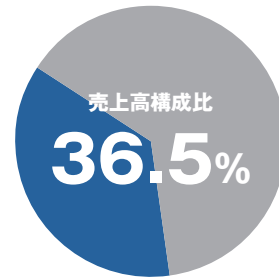


真空シール販売先シェア

石英製品販売先シェア

## 太陽電池関連事業

太陽電池生産の前工程を広くカバー。シリコン結晶製造装置の他、消耗品の石英るつぼ、部材のシリコン製品等を生産しています。



売上高

**211億5,100万円**

営業利益

**24億7,500万円**

シリコン結晶製造装置は、受注した装置の出荷が計画以上に進み堅調に推移しました。太陽電池用シリコンは、インゴットに加えウェーハの販売を開始したことにより、売上高が伸張しました。また、消耗品である石英るつぼも、受注数量に見合う増産体制を進めた結果、売上高が伸張しました。

シリコン単結晶  
引上装置

石英るつぼ



ウェーハ

### ▶ ご注目 ◀

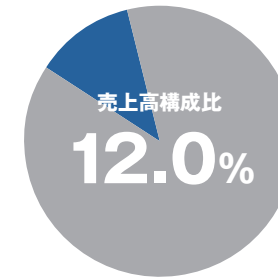
#### 2大イベント「PV EXPO」「PV JAPAN」に出展し、太陽電池関連製品をアピール

当社は、毎年開催される国際的な太陽電池・太陽光発電イベント、「PV EXPO」及び「PV JAPAN」への出展を通じて、多くの業界関係者に製品力をアピールしています。今年3月に開催された「PV EXPO 2011」では単結晶引上装置、多結晶製造装置、角切ソー装置、ウェーハ検査装置の他、るつぼ製品を紹介。また、12月に開催される「PV JAPAN 2011」でも積極的なブース展開を予定しています。



## 電子デバイス事業

エレクトロニクス産業を中心にさまざまな分野で活躍するサーモジュールや磁性流体等を生産しています。



売上高

**69億1,700万円**

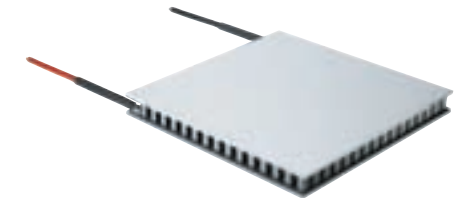
営業利益

**11億6,500万円**

主力の自動車温調シート向けサーモジュールは、各国政府の自動車販売支援策に加え、中国市場での自動車販売に支えられ底堅く推移しました。また、民生製品向けの家電需要が継続し、半導体製造機器、医療用検査装置、光通信向けなどの高機能製品も堅調に推移しました。



磁性流体



サーモジュール

### ▶ ご注目 ◀

#### サーモジュールが車内を快適化 自動車用温調シートへの応用

サーモジュールは、2種類の金属の接合部に電流を流すと、片方の金属からもう片方へ熱が移動するという効果を利用した、板状の半導体冷熱素子です。発熱・吸熱を電流で制御でき、小さなスペースにも組み込めるため、特に高級車の温度調整シートに多く用いられており、快適な車内環境づくりに貢献しています。振動・騒音の発生がなく、フロンなど有害な触媒を用いない点も大きなメリットです。

高級車の  
温度調整シート

## 連結財務データ(要約)

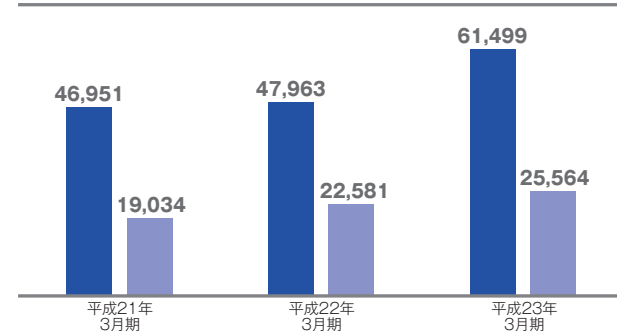
### 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当期	前期
	平成23年3月31日現在	平成22年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	36,133	25,622
固定資産	25,365	22,341
有形固定資産	19,204	16,943
無形固定資産	2,812	2,928
投資その他の資産	3,349	2,469
資産合計	61,499	47,963
<b>負債の部</b>		
流動負債	25,848	19,239
固定負債	10,086	6,142
負債合計	35,935	25,382
<b>純資産の部</b>		
株主資本	27,362	22,976
その他の包括利益累計額	△2,701	△846
少数株主持分	903	451
純資産合計	25,564	22,581
負債純資産合計	61,499	47,963

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 連結総資産 ■ 連結純資産 (単位:百万円)



### 連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当期	前期
	平成22年4月1日から平成23年3月31日まで	平成21年4月1日から平成22年3月31日まで
売上高	57,880	31,541
売上原価	39,359	22,987
売上総利益	18,520	8,553
販売費及び一般管理費	11,588	7,850
営業利益	6,931	703
営業外収益	457	403
営業外費用	1,098	582
経常利益	6,290	524
特別利益	215	119
特別損失	712	381
税金等調整前当期純利益	5,792	261
法人税等	1,224	77
少数株主損益調整前当期純利益	4,567	—
少数株主利益	84	28
当期純利益	4,483	156

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

### 連結包括利益計算書

(単位:百万円)

科目	当期	前期
	平成22年4月1日から平成23年3月31日まで	平成21年4月1日から平成22年3月31日まで
少数株主損益調整前当期純利益	4,567	—
その他の包括利益	△1,886	—
その他有価証券評価差額金	△4	—
為替換算調整勘定	△1,873	—
持分法適用会社に対する持分相当額	△8	—
包括利益	2,681	—
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	2,628	—
少数株主に係る包括利益	53	—

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

### 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	当期	前期
	平成22年4月1日から平成23年3月31日まで	平成21年4月1日から平成22年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,832	2,374
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,419	△1,521
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,505	△459
現金及び現金同等物に係る換算差額	△475	63
現金及び現金同等物の増加額	1,443	457
現金及び現金同等物の期首残高	5,867	5,410
現金及び現金同等物の期末残高	7,310	5,867

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

### 連結株主資本等変動計算書

(単位:百万円)

当期 平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで	株主資本					その他の包括利益累計額			少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	その他の包括利益 累計額合計		
平成22年3月31日残高	9,134	9,736	4,192	△ 86	22,976	215	△ 1,061	△ 846	451	22,581
連結会計年度中の変動額										
新株の発行	100	99			199					199
剰余金の配当			△ 297		△ 297					△ 297
当期純利益			4,483		4,483					4,483
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額(純額)						△ 4	△ 1,850	△ 1,855	451	△ 1,403
連結会計年度中の変動額合計	100	99	4,185		4,385	△ 4	△ 1,850	△ 1,855	451	2,982
平成23年3月31日残高	9,234	9,836	8,377	△ 86	27,362	210	△ 2,912	△ 2,701	903	25,564

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

会社概要 (平成23年3月31日現在)

商号 株式会社フェロテック  
 (英文表記) Ferrotec Corporation  
 設立 昭和55年9月27日  
 資本金 92億3,432万9,687円  
 株式公開 JASDAQ 平成8年10月18日  
 (証券コード: 6890)  
 決算期 3月31日  
 従業員数 200名

役員 (平成23年6月27日現在)

取締役  
 代表取締役社長 山村 章  
 代表取締役副社長 山村 文  
 代表取締役副社長 賀 賢 漢  
 取締役 小松 輝 寿  
 社外取締役 中塚 勝 人  
 社外取締役 吉田 浩 二  
 社外取締役 島田 忠 男

監査役  
 常勤社外監査役 宮田 賢 一  
 社外監査役 井上 朗  
 社外監査役 片山 茂 雄  
 社外監査役 福森 久 美

事業所 (平成23年5月10日現在)

本社 〒104-0031 東京都中央区京橋1-4-14  
 本社事務所 〒103-0027 東京都中央区日本橋2-3-4  
 日本橋プラザビル  
 関西営業所 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町11-34  
 第10マイダビル1階  
 会津工場 〒965-0102 福島県会津若松市真宮新町  
 北2-53  
 千葉工場 〒289-2131 千葉県匝瑳市みどり平1-4

グローバルネットワーク (平成23年3月31日現在)

国	内	株主名
		株式会社フェロテックシリコン(東京)
		株式会社フェロテックセラミックス(東京)
		アリオンテック株式会社(山形)
		杭州大和熱磁電子有限公司(中国杭州市)
		杭州先進石英材料有限公司(中国杭州市)
		杭州晶鑫科技有限公司(中国杭州市)
		上海申和熱磁電子有限公司(中国上海市)
		上海漢虹精密機械有限公司(中国上海市)
		上海漢虹国際貿易有限公司(中国上海市)
		香港漢虹新能源裝備集團有限公司(香港)
		台湾飛羅得股份有限公司(台湾)
		Ferrotec Korea Co., Ltd. (韓国)
		Ferrotec Green Energy Korea Corporation(韓国)
		Ferrotec Corporation Singapore Pte.Ltd.(シンガポール)
		Ferrotec(USA) Corporation(アメリカ)
		Ferrotec Material Solutions, Inc. (アメリカ)
		Ferrotec GmbH(ドイツ)
		Ferrotec Ltd.(イギリス)
		Ferrotec S.A.(スペイン)
		Ferrotec S.R.L.(イタリア)
		Ferrotec SARL(フランス)
		SCTB NORD(ロシア)
	外	

株式の状況

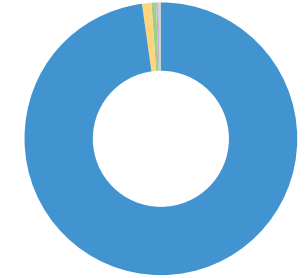
発行可能株式総数 67,000,000株  
 発行済株式総数 25,088,592株  
 株主数 11,485名

大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	3,576,400	14.31
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	1,840,700	7.36
THE CHASE MANHATTAN BANK,N.A LONDON SECS LENDING OMNIBUS ACCOUNT	1,219,800	4.88
野村信託銀行株式会社(投信口)	909,000	3.64
山村 章	807,100	3.23
株式会社三菱東京UFJ銀行	420,000	1.68
三井造船株式会社	410,000	1.64
住友信託銀行株式会社	400,000	1.60
NORTHERN TRUST CO AVFC RE NORTH HERN TRUST GUERNSEY IRISH CLIENTS	390,200	1.56
大阪証券金融株式会社	343,300	1.37

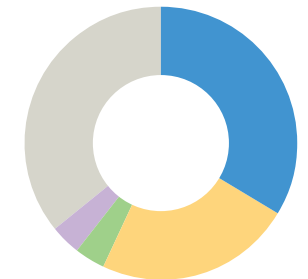
(注) 自己株式93,344株を除いた比率で表示しています。

所有者別株式分布状況



株主数 11,484名

■ 個人その他 11,251名 (97.97%)  
 ■ 外国法人等 107名 (0.93%)  
 ■ その他法人 66名 (0.57%)  
 ■ 証券会社 36名 (0.31%)  
 ■ 金融機関 24名 (0.21%)



株式数 24,995,248株

■ 個人その他 8,406,343株 (33.63%)  
 ■ 外国法人等 5,888,418株 (23.56%)  
 ■ その他法人 858,072株 (3.43%)  
 ■ 証券会社 934,845株 (3.74%)  
 ■ 金融機関 8,907,570株 (35.64%)

(注) 自己株式93,344株は上記の円グラフ中の株主数・株式数に含まれていません。